



# 本村幼稚園 9月の園だより

令和3年8月31日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

## 2学期は子供たちのポテンシャルアップ！！



今年の夏は大雨に悩まされたかと思えば連日の夏日となにかと不安定な気候でした。そんな中、42日間の夏休みを終え、2学期がスタートします。コロナ禍の夏休みではありましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。

先日、区から配信されましたメールのように10日までは午前保育というスタートとなりました。通常の生活に戻るには、もう暫く時間がかかりそうです。連日、報道されています新型コロナのデルタ株感染は日本中を席卷中です。以前と異なり10歳以下の子供たちの感染率も高くなってきました。その事実を真摯に受け止め、今学期も引き続き感染防止対策の強化を続け、安心、安全、そして楽しい幼稚園教育を進めてまいります。しかし、これには保護者様のご協力無しには、達成できないと感じております。どうぞ、ご理解、ご協力の程よろしく願います。



2学期は3つの学期の中でも一番長い学期です。また、幼稚園に慣れたり、友達とも交流を加速させたりする大切な時期です。また、子供一人一人のポテンシャル（潜在的能力）をアップさせる時期でもあります。ポテンシャルアップの鍵は次の通りです。

- ①子供が興味あることを発展させていきましょう。子供自身が意欲的に楽しめることが一番の近道です。楽しむことで自然と知識はもちろん、思考力が身に付いてきます。
- ②私たちが強制はしないこと。大人もそうですが、自分が好きなことに打ち込んでいるときが一番楽しいですね。子供にとっては、その楽しさこそが成長です。大人から「〇〇しなさい」と指示してしまうと自主性は確実に損なわれます。やる気がなくなる＝集中力・根性力の低下となります。
- ③まずは挑戦させる。心配になってすぐに手を出したくなりますが、ぐっとこらえましょう。「自分でできた！」という達成感が子供のポテンシャルアップの一番の薬です。さらに意欲的にチャレンジしていきます。でも、モチベーションが低下することもあります。そんなときは言葉でアドバイスをしたり手本を見せてあげるなどのサポートも必要です。



- ④他人、兄弟と比較しない。これは絶対にやってはいけないことです。幼児にだって自尊心はあるのです。「〇〇君はできるのに」、「お姉ちゃんはすぐにできた」と他人と比較するのは劣等感を植え付けてしまいます。確実にやる気が低下してしまいます。大切なのはできなかったことに目を向けるのではなく、できたことに目を向ける、そして、できたことを誉める。少しの「できたこと」でいいんです。それを見付け、全力で誉めてあげること何倍に子供の成長につながります。

いかがでしたか。幼稚園と保護者の皆様と以上のことを共有して、子供たち一人一人のポテンシャルを高めてまいりましょう。